

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経営戦略研究科・会計専門職専攻
大項目	4 成績評価及び修了認定
中項目	
小項目	4.0.1 成績評価
要素	<p>①学修の成果に係る評価(以下、「成績評価」という。)が、学生の能力及び資質を正確に反映する客観的かつ厳正なものとして行われており、次に掲げるすべての基準を満たしていること。</p> <p>(1)成績評価の基準が設定され、かつ学生に周知されていること。 (2)当該成績評価基準にしたがって成績評価が行われていることを確保するための措置がとられていること。 (3)成績評価の結果が、必要な関連情報とともに学生に告知されていること。 (4)期末試験を実施する場合は、実施方法についても適切な配慮がなされていること。</p> <p>②学生が在籍する会計大学院以外の機関における履修結果をもとに、当該会計大学院における単位を認定する場合は、当該会計大学院としての教育課程の一体性が損なわれていないこと、かつ厳正で客観的な成績評価が確保されていること。</p>
小項目	4.0.2 修了認定及びその要件
要素	<p>会計大学院の修了要件が、専門職大学院設置基準の定めを満たすものであること。この場合において、次に掲げる取扱いをすることができる。</p> <p>ア 教育上有益であるとの観点から、他の大学院において(他専攻を含む)履修した授業科目について修得した単位を、各会計大学院が修了要件として定める30単位以上の単位数の二分の一を超えない範囲で、当該会計大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすこと。 イ 教育上有益であるとの観点から、当該会計大学入学する前に大学院において履修した授業科目について修得した単位を、アによる単位と合わせて各会計大学院が修了要件として定める30単位以上の単位数の二分の一を超えない範囲で、当該会計大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすこと。</p>

II. 自己点検・評価(2010.5.1~2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度~2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA~Dの4段階とし自ら評価した。A~D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. GPA分布について、クラスおよび科目間で隔たりがある場合にはその理由を明確にする。	→GPA分布(クラス別平均GPA)	D	C			
2. 修了生の質保証のために、過去の修了生の個人別平均GPAを検討するなどして、一定水準以上のGPAを修了要件にするなどの措置を検討する。	→個人別平均GPA	C	C			
			☆			
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
なし	→なし					
なし	→なし					

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目4.0.1	4.0.1 成績評価 (説明) 成績評価の基準の周知については、「学生の手引き」に記載されるとともにネットシラバスで基準を明確化している。その成績評価基準にしたがって成績評価が行われていることを確保するための措置については、専攻会議で随時懇談を行い、絶対評価を加味した相対評価による成績評価を徹底するよう合意がなされた。また、成績評価の結果については、学生が教員に質問できる制度がある。期末試験の実施方法については、ネットシラバスに明記するとともに、各教員が講義時に伝えている。
小項目4.0.2	(説明) 他大学院で修得した単位は教育上特に必要と認めた場合に20単位を上限として単位認定している。また、入学前に本研究科で科目等履修で修得した単位は20単位を上限として単位認定している。他専攻科目、他研究科科目についても選択科目として10単位を修了の要件に算入する事ができる。
その他	

《評価指標データ》

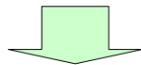
☆	
☆	

☆

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(1)】効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目4.0.1	
☆小項目4.0.2	
その他	



【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目4.0.1	
☆小項目4.0.2	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(2)】改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目4.0.1	
☆小項目4.0.2	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目4.0.1	
☆小項目4.0.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

☆その他 (自由記述)	
----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価専門委員会の評価>

○成績評価のしっかりした運用により、修了生の質保証に気を配ることは大切です。
○本項目に関し、各要素に従い、的確な内容で自己点検・評価を行っており、その結果も適正です。なお、GPAに関し、GPA分布の平準化について努力されることを期待します。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

☆なし	
-----	--